

石狩市公立小中学校事務職員第73回（今年度第2回）学校間連携会議議案

2016年6月14日（火）14：30～

於：りんくる301・302会議室

1 議長挨拶

2 経過報告

5月12日 第72回連携会議

5月13日 石事協 役員・研究推進委員：合同研修会（研究G長・村井・事務局長・事務局次長）

5月31日 予算要望G担当者会議（議案検討）：予算要望G・事務局

6月 3日 HP：2015年石狩市の連携会議 アップ

HP：第71回および第72回連携会議 議案および記録 アップ

3 協議題1 「平成29年度 石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について ～ 別紙1

（提案 予算要望G担当）

4 協議題2 「実務実践交流シート」の交流について

～ 別途配布

（提案 研究G担当）

①石狩中学校 村井さん

②南線小学校 佐藤さん

5 実践交流

保護者向け事務だより 厚田小学校 富永さん

6 連絡事項

① HP掲載資料「石狩市公立小中学校の概要」の更新作業について、奨励プロ・外部講師他未記入で提出された方は、その部分の数字だけでも構いませんのでメールで、お知らせください。また、就学援助の欄を見え消しにしています。昨年度と同じ人数の学校が多数見受けられます。もう一度ご確認願います。訂正する場合は同じようにメールをいただければと思います。

7 各グループ討議について

各グループにおいて各課題解決に向けた話し合いをお願いします。

○○

○○

△△

領域実践交流シート

学校名【石狩市立石狩中学校】記入者【村井 誠】作成日【2016/06/06】

見つかった課題	<p>前任校での実践です。</p> <p>学校経営に保健管理部（事務職員所属チーフ）が主体的に参画する（チーム三中）ということで、その年の学級経営方針の重点の一つである「道徳教育」を分掌でどう連携していくことが必要なのかの課題が与えられた。</p> <p>「道徳教育」で関連をどうするかという点で以下の二点を保健管理部で取り組むことになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, ボランティア清掃を含めた社会貢献心の育成 2, 生徒たちに公共物や学校施設がどのくらい重要であるかを理解させる公徳心の育成 <p>この二点の提案を行う。</p>
課題解決に向けた行動の経過	<p>1, 「社会貢献心の育成」</p> <p>1, については「登校中でのゴミ拾い」活動を行う。</p> <p>生徒のみならず生徒会・PTA・町内会を巻き込んでの活動を行う。</p> <p>終了後とりくみ活動のとらえ返しとしてアンケート調査をしてその集計と評価を職員会議で出し、本校生徒の社会貢献心のとらえ方を議論する。</p> <p>2, 「公徳心の育成」</p> <p>2, については良好な学習館環境整備もからめて、ステップとして教室内掲示物「三中スタンダード」を提案する。</p> <p>各分掌と連携をとりながら教室内掲示物のスタンダードを例示して基本的なものの掲示物とその場所を設定する。</p>
行動する上で見えたこと	<p>PTA・地域との連絡等は事務職員にとっても必要なツールであると感じた。また生徒会を巻き込んだ時は指導部との動きが鈍かったので年度反省等で呼びかけが必要であった。</p> <p>各分掌との連携はとしては相当踏み込むことになるが、日常的に「良好な学習環境の整備」を重点として安全点検を始めとして様々な部分で踏み込んでいるから意外にすんなり受け入れられた。</p>
とりくみの結果何がどうなったか	<p>地域町内会（高齢の方ばかりでした）とPTAは協力的で、挨拶運動もかねて生徒とのふれあいを楽しんでいた感じがあり非常に新鮮であり生徒もこの活動真剣に取り組んでいた。重要なのはとらえ返しとしてのアンケート調査が重要で、またやりたいという要望があった。（生徒は振り返ることで理解することがあるということがあり、それは私たちの業務遂行の上でも必要なことであるということも教えられた）</p> <p>三中スタンダードは委員会活動でも全校統一されるようになった。またインクルーシブ教育における合理的配慮を教職員が考えさせられる場面もあり有意義であった。</p>

実務実践交流シート

石狩市立南線小学校 佐藤信明

見つかった課題	<p>以前勤務していた学校（双葉小学校）でのことです。</p> <p>「卒業証書」の筆耕（氏名、生年月日、証書番号などの部分的な毛筆による記入）は、開校以来、地域コーディネーターの方を通じ地域のボランティアの方にお願いをしていました。</p> <p>ところが、その方が高齢のため依頼することが難しくなってきたため、翌年から他の方を探そうということになりましたが、適当な人が見つかりませんでした。</p>
課題解決に向けた行動の経過	<p>他校に聞いたり、管理職のつてを頼って探そうとしましたが、なかなか見つからず、思いあぐねて教育委員会にそのような業務を委託しているところがあるか尋ねたところ、市内のある学校で、石狩市のシルバー人材センターを使っているとの情報を得ました。</p>
とりくみの結果、何がどうなったか、感想等	<p>さっそく、その学校に確認したところ、市経理で支出しているとのことだったので、支出科目や単価等について確認しました。</p> <p>その後、シルバー人材センターに連絡して、納期や金額等について確認して無事卒業式には間に合うことができました。発注から納期まで3日程度。間違いは1枚もありませんでした。</p> <p>発注先 公益社団法人石狩市シルバー人材センター 品名金額等 卒業証書書入れ筆耕(10字まで) 1枚 102円 卒業証書書入れ筆耕(12字まで) 1枚 154円 支出科目等 節 12（役務費） 細節 05（筆耕翻訳料）</p> <p>すべて支払いを終えて、後になって気が付きましたが、配当予算の役務費の中の細節に筆耕翻訳料がないこと、市教委が出している学校事務の手引きの中の款項目節（細節）一覧のなかにも筆耕翻訳料の項目がないので？？？</p> <p>となりましたが、ほかに調べてみると役務費の細節としては、 01 通信運搬費 02 保管料 03 広告料 04 手数料 05 筆耕翻訳料 06 火災保険料 07 損害保険料 08 共済保険料 というものがあり、学校では01と04があればいいのかなとも思いました。ただ、ただ配当予算の細節に05がないのに支出したことが非常に気になりますが、来年度以降も続けていくことになるのかなと考えています。</p>

保護者向け事務だより

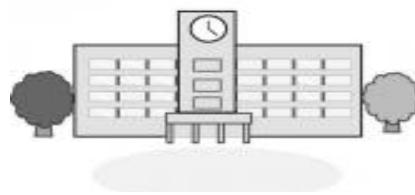
2016年3月10日発行

2015年度第3号

石狩市立厚田小学校

事務職員 とみなが あとみち
富永 有斗理

あつた



援助を希望される方は

申請書に必要事項を記入し、提出願います。



なお現在援助を受けていても、新年度ご希望の方は新たに申請が必要です。

保護者のみなさまが負担している学年・学級教材費

学校

配当予算で買うことに

「算数セット」